

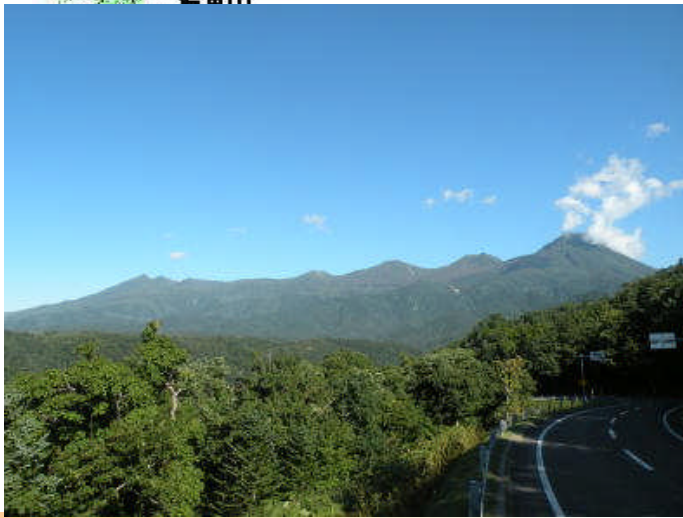
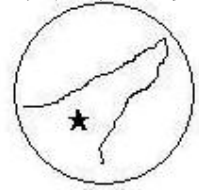
The Great Scene of Shiretoko

発行：網走南部森林管理署 ウトロ森林事務所

森林官・グリーンサポートスタッフ（GSS）

羅臼岳（岩尾別ルート）

（標準コースタイムで頂上往復9時間くらいかかります）



登山には最適で安定した気候が続いていますが、気温が思うように下らず赤く色づくナナカマドの葉も茶色く枯れている状況です。これから気温が下がったとしても紅葉を楽しむ事が出来るのか心配ですが、遠くの景色はかすみが取れたせいかくっきりと確認できるようになりました。



赤く熟した実とは対照的に枯れている葉（ナナカマド）

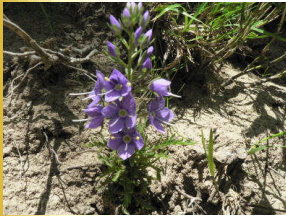
～3つのお願い～

- ☆登山道にはトイレがありません。携帯トイレを持参してください。
- ☆植物を守るため、登山道以外の場所を歩かないでください。
- ☆登山道や植生の破壊を防ぐため、登山用ストックはゴムキャップをつけて下さい。

木下小屋(登山口)

知床GSS便り

GSS(グリーンサポートスタッフ)はマナー啓発活動、羅臼岳登山道の簡易的な整備を行うなど、知床世界自然遺産地域の巡視を行っています。花の季節は終わろうとしていますが、巡視の中で見掛けた知床の植物を紹介致します。



キクバクワガタ(6月上旬)



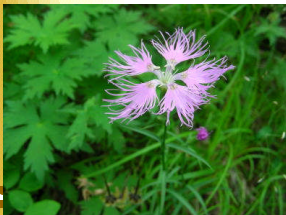
ツマトリソウ(6月上旬)



ミネズオウ(6月下旬)



ウコンウツギ(6月下旬)



エゾカワラナデシコ(7月上旬)



チシマノキンバイソウ(7月下旬)



チシマセンブリ(7月下旬)



カワラボウフウ(8月上旬)

倒木更新とは

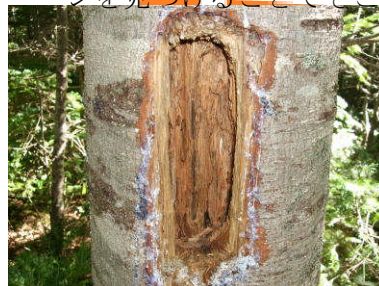
倒木更新という言葉はご存じですか？

自然界ではよく見られる光景で、風で倒れた木や寿命で朽ちた木にコケが生え、そこへ飛んできた種が芽生え生長するというものです。横たわった朽ちた木は自分の命と引き替えに新しい命を宿し次の世代に譲るといった役割を果たしています。メリットは次の通りです。

- ①倒木の分だけ高さがあるので笹等の被圧を受けにくい。
- ②コケから水分の補給が受けられる。
- ③有機物(倒木)が微生物等に分解され、無機物が供給される。



朽ちた木にトドマツの芽吹き



クマゲラの食痕

動物の痕跡を探そう

森の中を歩いているといろんな動物たちの痕跡を見つけることができます。足跡、食痕、糞などが挙げられますが、これらをフィールドサインと呼びます！トドマツに細長い穴が開いていました。これはキツツキの仲間です。最も大きなクマゲラの典型的な食痕です。アイヌの人はこれを見て丸木船を掘ることを思い立ち、『船を掘る鳥の神』と崇められたそうです。姿は見えなくてもフィールドサインを見つけることでそこに住む動物たちを知る事ができます。掘る姿を想像しながら森の中を歩いてみると楽しいかもしれませんね。

お問い合わせ

網走南部森林管理署ウトロ森林事務所 斜里郡斜里町ウトロ東16 (TEL 0152-24-2144)